



# 代スキ会NEWS

2011.10.06

no.34

## セミナー・シリーズ まちづくりの哲学「場所」「幸福」「関係性」

代官山で「まちづくり」に取り組んできた「代官山ステキなまちづくり協議会」が、多様な分野の第一線の有識者を迎えて考える計6回のセミナー・シリーズです。過日開催されました第1回、第2回のセミナーは、毎回盛況で皆さんの関心の高さが窺えました。参加された方々には、それぞれの立場で哲学のヒントを持ち帰っていただけたものと思いますが、ここでは、ごく簡単に内容の一部をご紹介します。

### ■第1回「人間にとっての居場所とは？」6月23日(木) 19時～ 講師：清水博（生命学者）

○近代システムを乗り越える新しい哲学「場の思想」のお話から・・・  
「居場所」とは、人生の物語が紡がれる空間で、「人生」とは、生活の即興劇を演じることであり、これを演じる力が「生命」である。舞台（場所）には主役はいない。小さなドラマから役者を引き込み、消えないドラマをつくっていくこと、自分自身を表現することにより、場所が変化するドラマをつくるのが大事である。  
人生（即興劇を演じる）の意味を深め、意味を発見しながら困難を乗り越え、新しい意味を発見する、意味の発見、循環が、次に進む力になっていく。生命の「与贈」とは、自分の働きを差し出すことであり、それにより居場所が豊かになり、支えられて生きている実感味わうことにつながり、いい「循環」がつくられる。人間は自然に救われて生きている存在であり、他の生物とともに場の中にいるという自覚をもつべきである。日本人の自然観（自然との調和・助け合い）が、日本の文化をつくり、「場の思想」につながっている。西洋科学や文化との違いを認識すべきである。そして、自分を表現する自由のある変化のあるまち、まちの時間の中に自分の時間をもてるまち（2重生命）にしていくことが、まちへの愛や誇りにつながっていく。

○会場での質疑から・・・  
グローバル化の中で、時間と空間の置き換えが可能になっているが？  
日本では、欧米文化とは異なり、人間と土地の関係性は切り離せない。ドラマとともに生成してくる時間、時間（場の思想）が重要である。

### ■第2回「まちは幸福をアフォードするか？」9月13日(火) 19時～ 講師：河野哲也（哲学者）

○ギブソンの生態学的心理学から、まちづくりへと誘っていただきました。・・・  
私たちが取り巻く「環境」は「アフォードダンス」という価値をもっている。アフォードダンスとは、私たち人間を含む動物が関わることにより、ある出来事が生じるような、環境の潜在的な特性のことをさす。私たち動物が棲む（住む）のは、このアフォードダンスの集合体といえる「生態学的棲家（ニッチ）」である。この生態学的環境（中間規模の世界）こそ、私たちにとって意味のある世界である。なぜなら、身体で測れる世界であり、一定の時間性をもった出来事（過程）をもつ世界であるからである。  
私たちの心は、身体と環境の間にあり、心の能力は一定の環境の中ではじめて発動する。つまり、身体と環境の間をデザインすることが「まちづくり」であり、そのためには、自分と環境、環境と身体の関係性に気づくこと、価値や意味を発見すること（アフォードダンスを知ること）、が重要である。

○会場での質疑から・・・  
人間・身体の関係性については、すでに優れた建築やデザインの世界では実現している。広い領域（都市計画）での生態学的しくみをつくるべき。生態学外的、時空間を超えた法制度に問題がある。まちは身体の延長としてつなぐ主体・単位を考えていくべきではないか。

### 第3回 代官山運用会議

9月18日に第3回代官山運用会議が、今回も堀井邸で近隣の方も参加して和やかな雰囲気の中で行われました。はじめに加藤先生（東海大学教授わがまちルール運営専門委員）より直近の代官山地域の緑・建物用途、規模等の調査経過が報告され、今後、地域の方にも参加いただき細かい実情把握をする事が、これらの代官山のまちづくりには重要であることが語られました（ワークショップは11月26日予定）。  
次に参加者の日々感じていることについて、その多くが住宅街にある飲食店との様々な問題で、住居エリアでは起きない事柄が住生活を侵害しているとお話でした。しかし、住宅地にさりげなく存在するお店は、まちの魅力としても捉えられており、これらと共生を図っていくことが代官山の魅力維持の課題となります。そこで、代官山に出店を予定される方に、住宅地域内での飲食店出店に配慮してもらいたいことをまとめたマナーガイドをつくることになりました。相互の理解と協力ができるマナーガイドを目指しますので、お気づきのこと、アイデア等ありましたらご連絡願います。  
他にシニアの方から、共同作業等のほとんどない恵まれた環境であるが故に人々の関係が薄れ、まちの魅力が失われているのではないかと意見がありました。今回のようにまちのことを気軽に話し合う機会を多く設け、自分たちがまちに参加していくことでよくしていきたいとの提案があり、シニアパワーの活躍で代官山がより魅力的になっていく希望を感じました。  
また、今回の話し合いで有益で具体的提案が幾つかありましたので、みなさまのご意見をお聞かせ下さい。

- ・ 鎌ヶ崎交差点に横断歩道をつける：旧朝倉邸、中目黒に高齢者が無理なく行けるようにして欲しい。
- ・ 電柱を少なくする：狭い私道の中に電柱があります。これらを整備し歩きやすいすっきりとした路地にして欲しい。出来れば電線を地中化して欲しい。
- ・ 地域清掃dayの提案：道にゴミが散乱しているところもあり、汚く臭いも気になる。みんなで清掃する仕組みを考えては？

次回11月12日(土)17:30～堀井邸にて運用会議を行います、このように地域の住民と働く人が一緒にまちを考え、共に行動ができればと思います。わがまちルール範囲以外の方も参加していただきステキな代官山を創っていく行動を起こしませんか。ご興味のある方参加したいと思われる方は、代スキ会事務局石原までご連絡下さい。（石原携帯：080-4404-1933）

代官山運用会議：渋谷区まちづくり条例による地域ルール（わがまちルール）です。範囲は猿楽町9～28と成っておりますが、まちづくり協議会の範囲（代官山全体）としております。